

## 資料

### 群馬県におけるアライグマの棲息状況と個体の記録(2007)

姉崎智子<sup>1</sup>・坂庭浩之<sup>2</sup>・長尾由美<sup>2</sup>・田中義朗<sup>3</sup>・黒川奈都子<sup>4</sup>・佐藤ゆり恵<sup>3</sup>・佐藤 弘<sup>5</sup>

<sup>1</sup> 群馬県立自然史博物館: 群馬県富岡市上黒岩1674-1 (anezaki@gmnh.pref.gunma.jp)

<sup>2</sup> 群馬県環境・森林部自然環境課: 群馬県前橋市大手町1-1-1 (sakaniwa-hi@pref.gunma.jp)

<sup>3</sup> 群馬県食肉衛生検査所: 群馬県佐波郡玉村町樋越305-7

<sup>4</sup> 群馬県健康福祉部食品安全会議事務局食品監視課: 群馬県前橋市大手町1-1-1

<sup>5</sup> 国立感染症研究所感染症情報センター: 東京都新宿区戸山1-23-1

**要旨:** 群馬県においては、1994年よりアライグマの捕獲が報告されており、2005年以降には、県西部および北部を中心に捕獲数および目撃件数に増加がみられることから、県内における棲息数の増加、棲息域の拡大が懸念されている。当館では、2006年度より県内で回収されたアライグマについて、個体の記録を残す作業を行ってきた。今回、そのデータをまとめたので報告する。

**キーワード:** アライグマ, *Procyon lotor*, 群馬県, 年齢構成, 繁殖パターン, 胃・腸内容

### Current status of raccoon (*Procyon lotor*) in Gunma Prefecture (2007)

ANEZAKI Tomoko<sup>1</sup>, SAKANIWA Hiroyuki<sup>2</sup>, NAGAO Yumi<sup>2</sup>, TANAKA Yoshirou<sup>3</sup>  
KUROKAWA Natsuko<sup>4</sup>, SATO Yurie<sup>3</sup> and SATO Hiroshi<sup>5</sup>

<sup>1</sup> Gunma Museum of Natural History: 1674-1 Kamikuroiwa, Tomioka City, Gunma Prefecture  
(anezaki@gmnh.pref.gunma.jp)

<sup>2</sup> Bureau of Forestry and Environmental Affairs, Natural Environmental Division: 1-1-1 Ohtemachi, Maebashi City, Gunma Prefecture  
(sakaniwa-hi@pref.gunma.jp)

<sup>3</sup> Department of Health and Welfare, Meat Inspection Laboratory, Prefecture of Gunma: 305-7 Toigoshi,  
Tamamura-machi, Wawa-Gun, Gunma Prefecture

<sup>4</sup> Department of Health and Welfare, Food Supervision Division, Prefecture of Gunma: 1-1-1 Ohtemachi, Maebashi City, Gunma Prefecture

<sup>5</sup> National Institute of Infectious Diseases: 1-23-1 Toyama, Shinjuku, Tokyo

**Key Words:** Raccoon, *Procyon lotor*, Gunma Prefecture, age profile, reproduction, diet

#### はじめに

アライグマ *Procyon lotor* は北米原産の夜行性の陸棲哺乳類で、環境への適応能力が優れており、都市部から森林、湿地帯までの水辺近くを好んで棲息する。雑食性で、果実、野菜、穀類、魚類、両生爬虫類、鳥類の卵、昆虫類、甲殻類などを採食する。

日本国内では1962年に岐阜県可児市で愛知県犬山市の飼育施設から逃亡し、定着が確認された(池田1993; 牧野、橋

井2002など)。また、1977年にテレビアニメ「あらいぐまラスカル」が放映されたことを契機に、ペットとしての人気が高まり、多くのアライグマが輸入され、飼育されることとなった。しかし、野生動物であるアライグマは発情期になると凶暴になることや、学習能力の高さから放逐、逃亡が繰り返され、1979年には北海道恵庭市、1988年鎌倉市、2004年には少なくとも42の都道府県で棲息の情報がある(池田, 1993, 1999; 牧野・橋井, 2002; Ikeda et al., 2004; 田辺鳥獣害対策協議会, 2005; 河内ほか, 2006; 関ほか, 2006)。

群馬県においては、1994年に昭和村赤城原での捕獲、1995年から狩猟による捕獲実績、1997年より目撃情報が報告されていた。しかしながらその詳細は不明である。2005年以降、県西部および北部を中心に捕獲および目撃件数に増加がみられ、2007年には県西部で交通事故死死体も確認されたことから他県と同様、確実に棲息数の増加、棲息域の拡大が懸念される(図1)。アライグマによる農作物被害や、家屋など人間生活への直接的被害の他に、在来の生態系の破壊、狂犬病やアライグマ回虫など、新たな伝染病の媒介についても危惧される動物であることから、早急な対応が求められる。

当館では、県環境森林部自然環境課、県農業指導センター、市町村役場、市町村協議会、地元猟友会、JAなど諸関係機関・団体の協力を得て、2006年度より県内で回収されたアライグマについて、個体の記録を残す作業を行ってきた。データ収集のための解剖作業は、2007年度子どもミュージアムスクール・ほ乳類骨学実習コース生、岡野 督・塩野ゆり子・斎藤 寛・松井理香子・田島祐美・湯澤太路が中心になって実施した。本稿ではそのデータをまとめたので報告する。

### 群馬県内におけるアライグマの生息状況

群馬県においては、県自然環境課および県自然環境調査研究会がアライグマおよびその他特定外来種の棲息状況について把握するために、アンケート調査、狩猟者への聞き取り調査、捕獲状況調査などを実施している。その結果、群馬県に棲息するアライグマの地域は、現段階において大

きく2つに分かれることが明らかとなった(図2)。1つは、県西部から南部にかけての広い範囲であり、この地域では目撃情報も多く、捕獲実績も多い。もう一方は、県北部であり、ここでは捕獲実績は2頭に留まっているが、目撃情報は1997年までさかのぼる。

また、上毛新聞記事データベースの検索調査から、1994年には昭和村赤城原の農家庭先での捕獲や(上毛新聞1994年9月14日)、2000年の群馬町の酪農家での捕獲など(上毛新聞2000年2月5日)が確認された。

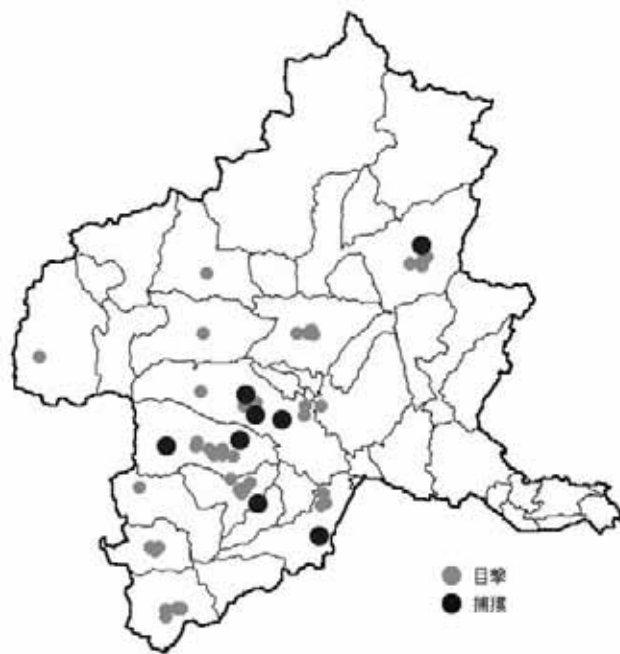


図2 群馬県内におけるアライグマの目撃、捕獲地域  
(アンケート調査、捕獲実績データなどを基に作成)

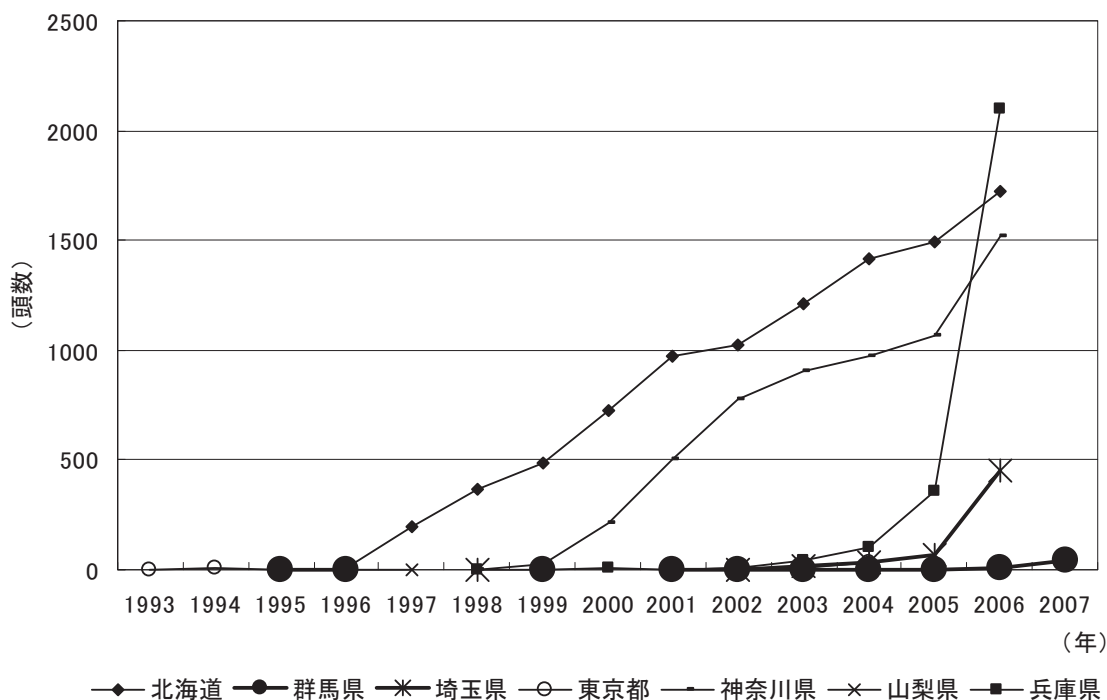


図1 アライグマ県別捕獲頭数

## 収集個体の調査内容

2006年4月1日から2007年12月31日までに収集されたアライグマについて、捕獲時期、捕獲場所、性別、体重、年齢(現段階においては牧野・橋井(2002)にしたがい便宜的に体重4kg以上の個体を成獣、哺乳中の個体を哺乳獣、それ以外のものを幼獣とした)、性成熟状況、妊娠状況、胃内容、腸内容を調査した。

## 結 果

### 月別頭数

2006年4月1日～2007年12月31日までに収集できたアライグマは、付表に示したとおりである。また、月別頭数を図3に示した。2007年4月～5月にかけて一桁であった捕獲頭数が、8月以降に急速に増加した。その背景には、8月以降、県西部を中心に捕獲調査のための捕獲努力量を増したことによるものと考えられる。

### 地域別頭数

地域別にみると、2006年には松井田町で4頭、藤岡市で1頭の捕獲であったが、2007年には松井田町で8頭、安中市で7頭、高崎市で20頭、利根町1頭、高崎市市街地1頭の計37頭となった。このうち、安中市の1頭と高崎市の1頭は交通事故死個体である。これにより、特定地域における棲息密度の増加が推測される。ただし、安中市と高崎市では捕獲圧を高めていることから、頭数が増加したものと考えられる。

### 性別

収集個体について性別を確認した結果、オスが27頭、メス16頭とオスが多いことが明らかとなった。

### 体重、推定年齢

牧野・橋井(2002)にしたがい、便宜的に4kg以上を成獣、哺乳中の個体、それ以外を幼獣の3ステージに分け(図4、5)、性別を比較した結果、幼獣および成獣でオスが多いことが示された(図5)。しかしながら、安中市で捕獲された同腹と思われる哺乳個体4体は、すべてがメスであった。今後、さらに調査を進めることが必要であるが、生まれてくるアライグマの性比は、アライグマの棲息密度が飽和状態にある地域では行動範囲の広いオスが多く、定着しつつある地域では繁殖力の強いメスが多い傾向がある可能性が指摘されていることから(牧野・橋井2002, p3, p4図2)、県西部では、現在アライグマの定着が進行していることが示唆される。

### 繁殖状況

哺乳獣を除くメス12頭について繁殖状況を確認したところ、妊娠していた個体は0頭、胎盤痕が確認された個体は5頭であった。胎盤痕が確認できなかった個体についても、子宮や乳の状態から、経産であった個体を少なくとも4頭確認した。胎盤痕の数は2～6個確認され、神奈川県で報告されている3～9個(牧野・橋井, 2002)と比較すると若干少ない傾向がある。

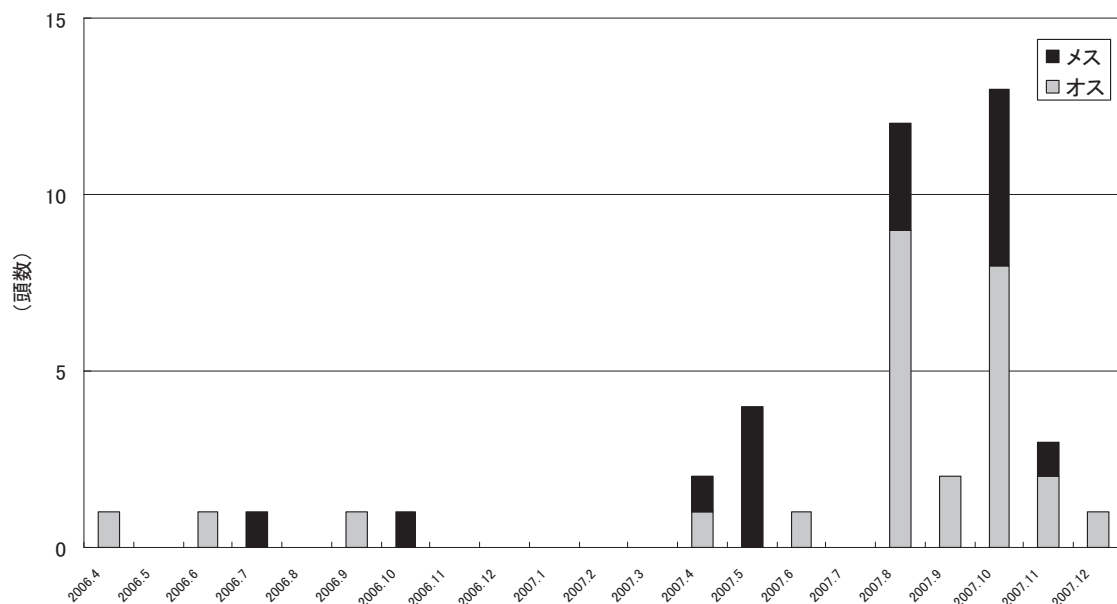


図3 月別回収頭数

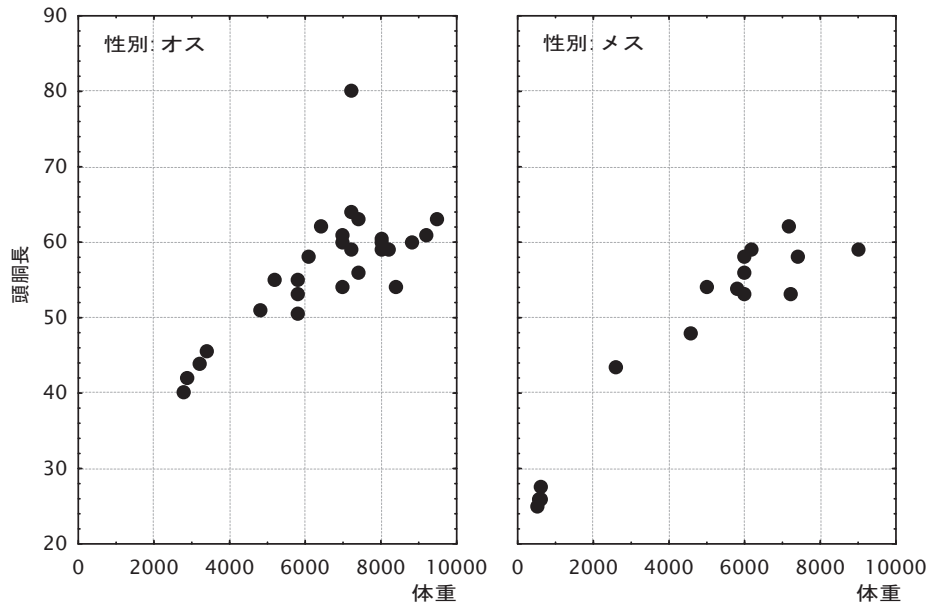


図4 アライグマ体重 (g) vs 頭胴長 (cm)

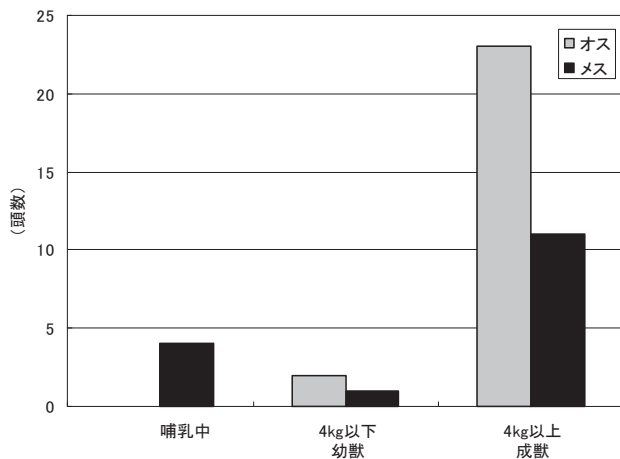


図5 体重別, 性別比較

### 胃内容, 腸内容

胃内容および腸内容については, 表1に示した. 6月の個体ではクワの実(図6-1), 8月ではブドウ(図6-2), エノキ(図6-3), 10月ではアメリカザリガニ(図6-4), カキ, サルナシ?, ギンナン, カナブン類, 11月では果実皮・種(種不明), 12月ではサワガニなど多様なものを摂食していることが明らかとなった. とくに注目されたのがVM07-210であり, 囲い梨貯蔵場所周辺で捕獲された本個体の腸からは果実種子のほかに, ビニール, 手ぬぐい布, 手袋, 金属ファスナーのエレメント, 新聞などが検出されたことから, 人の生活環境に深く入り込み, 餌を得るために本来餌として利用されるはずのない人工物まで食い破る等の行為を行っていることが判明した.

### 今後の課題

群馬県でアライグマの存在が確認されて, 10年以上が経過した. これまでアライグマに直接的に起因する被害の報告が少ないことから, 県内における本種の棲息状況については把握されてこなかった. しかし, 今年度より県内において本格的な調査を始め, 捕獲努力量を増したことから調査地域での捕獲頭数が増加していること, また, 現段階において棲息域を県内全域に拡大しつつあることが, 聞き取り状況等からも判明した.

優れた環境適応能力, そして, 条件があえば秋にも繁殖できる能力と, 多様なものを摂取する雑食性という特性を兼ね備えたアライグマに対しては, 被害がでてからの捕獲をはじめ従来型の手法では本種の棲息域の拡大を防ぐことができないことは他県でも指摘されている. 積極的な情報収集体制の整備と基礎データの蓄積, データの解析, 対策現場への情報のフィードバックなど, 迅速かつ継続的な対策への取り組みとして求められる.

### 謝 辞

厳しい状況の中でアライグマ対策に携わっているすべての方々に深く感謝申し上げます.

### 引用文献

池田 透(1993):北海道恵庭市における野生化アライグマの生態調査, 東英生(編)日本国内における外来哺乳類の生息状況及びその

対策の現状, p. 3-11.

池田 透(1999):北海道における移入アライグマ問題の経過と課題.  
北海道大学文学部紀要, **47**(4):149-175.

Ikeda, T., Asano, M., Matoba, Y. and G. Abe (2004): Present status of  
invasive alien raccoon and its impact in Japan. Global Environmental  
Research, **8**:125-131.

上毛新聞「<<時の話題>>アライグマ発見 昭和村」(1994年9月14日朝  
刊)

上毛新聞「アライグマの飼い主ヤーイ 群馬町で保護」(2000年2月5日  
朝刊)

河内紀浩・関 善和・中野裕介・六波羅聡・平田滋樹・吉田 洋・  
北原正彦(2006):富士五湖周辺におけるアライグマの生息状況  
(予報)(ポスター発表, 講演要旨, 野生生物保護学会2004年大会

大会報告). ワイルドライフ・フォーラム, **10**(3-4):86

牧野 敬・橋井秀雄(2002):神奈川県自然環境保全センターに搬送さ  
れたアライグマの記録. 神奈川県自然環境保全センター自然情  
報, **1**:1-6.

田辺鳥獣害対策協議会(2005):田辺市におけるアライグマ調査報告  
書, p. 1-66.

関 義和・中野裕介・石井 亮・六波羅聡・鈴木里実・後藤章浩・  
中島由美・夏目暁子・小川由希・大森奈保子・築地沙耶香・大  
塚白実・中村有里沙・河内紀浩(2006):神奈川県から山梨県への  
アライグマの分布拡大状況(予報)(ポスター発表, 講演要旨, 野生  
生物保護学会2004年大会大会報告). ワイルドライフ・フォーラ  
ム, **10**(3-4):87.



図6-1 VM07-36 胃内容 クワの実



図6-2 VM07-65 胃内容 ブドウの皮

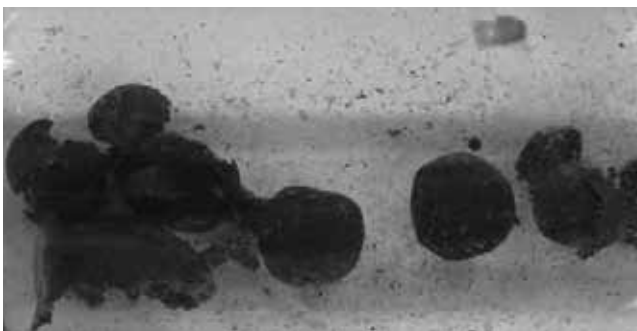


図6-3 VM07-127 腸内容 エノキ



図6-4 VM07-132 腸内容 アメリカザリガニ

付表 2006年4月～2007年12月末現在の当館に搬入されたアライグマ個体一覧

自然史博 標本 (仮)番号	年	月日	市町村	性	体重 (g)	頭胴長 (cm)	胎盤痕 有:1 無:0	胎盤痕 左	胎盤痕 右	出産歴	胃内容	腸内容
回収なし	2006	4.25	藤岡市	オス	7200	64						
VM06-11	2006	6.1	安中市	オス	8800	60						
VM06-28	2006	7.27	安中市	メス	7200	53	0			未経産		
VM06-41	2006	9.22	安中市	オス	9500	63						
VM06-54	2006	10.25	安中市	メス	9000	59	0			経産		
VM07-4	2007	4.20	安中市	オス	7200	80					体毛(塗料片、 プラスチック片含 む)	
VM07-6	2007	4.23	安中市	メス	5000	54	不明			経産		
VM07-10	2007	5.10	安中市	メス	590	26	0			未経産		
VM07-11	2007	5.10	安中市	メス	500	25	0			未経産		
VM07-12	2007	5.10	安中市	メス	600	27.5	0			未経産		
VM07-13	2007	5.10	安中市	メス	620	26	0			未経産		
VM07-36	2007	6.26	甘楽町	オス	6100	58					クワの実	
VM07-63	2007	8.7	安中市	オス	8200	59					皮, 茎, 毛	
VM07-65	2007	8.10	高崎市	メス	6000	53	1	2	3		ブドウ多数+体毛	
VM07-66	2007	8.12	高崎市	オス	3200	44					ブドウ+草類	小動物の臼歯
VM07-67	2007	8.13	高崎市	オス	3400	45.5						
VM07-68	2007	8.15	高崎市	オス	7000	60					ブドウ+体毛	
VM07-70	2007	8.16	高崎市	メス	2600	43.5	0			未経産		ブドウ皮
VM07-82	2007	8.22	高崎市	オス	2800	40					ブドウ皮	ブドウ皮, タネほか
VM07-81	2007	8.22	高崎市	オス	2900	42					ブドウ皮	ブドウ皮, 毛
VM07-113	2007	8.23	高崎市	メス	7400	58	1	3	3			
VM07-114	2007	8.24	高崎市	オス	9200	61						
VM07-115	2007	8.24	高崎市	オス	8400	54						
VM07-127	2007	8.29	高崎市	オス	8000	60.5					毛, ビニール	タネ(エノキ), 皮 (ナシ?)
VM07-130	2007	9.21	高崎市	オス	7400	56					体毛多量, 草繊維 のみ	体毛多量, 草繊維 多量
VM07-131	2007	9.22	高崎市	オス	7000	61					種子, 果実皮, 毛	果実皮, 毛
VM07-134	2007	10.1	高崎市	メス	5800	53.8	1	0	2		草, 葉, 毛	毛, 草繊維
VM07-132	2007	10.2	安中市	メス	6000	56	1	3	2			アメリカザリガニ, ブドウ, 草本類 小腸に糸あり(実 体顕微鏡確認)
VM07-135	2007	10.3	高崎市	オス	4800	51					ナシの皮, ザリガ ニ, 昆虫(カナブン 類), 草	ザリガニの足, ナシ の皮
VM07-136	2007	10.4	高崎市	メス	4600	48	0			未経産	アメリカザリガニ, 不明種子	アメリカザリガニ, 不明種子, 木の実と思われる 皮
VM07-137	2007	10.10	安中市	オス	5200	55						体毛, 草本類
VM07-155	2007	10.10	高崎市	オス	5800	50.5					草の根, プラスチック 繊維, 毛	プラスチック繊維, 草
VM07-157	2007	10.18	安中市	オス	8000	60					カキ, 昆虫, 銀杏, キウイ種(さるな し?), ザリガニ足	カキ, ザリガニ
VM07-158	2007	10.18	安中市	オス	7200	59					カキ, 草, 毛	カキの繊維?
VM07-159	2007	10.19	安中市	オス	7000	54						ナッツ(ピーナッツ クリーム?)
VM07-164	2007	10.19	高崎市	オス	5800	53					カキタネ	消化済
VM07-160	2007	10.21	安中市	メス	6200	59	0			未経産	果実	
VM07-163	2007	10.31	安中市	メス	6000	58	0			経産	繊維	ヒモ
VM07-165	2007	10.31	沼田市	オス	7400	63						
VM07-176	2007	11.6	高崎市	オス	6400	62.1						ひも
VM07-175	2007	11.10	安中市	オス	5800	55					カキ	カキ
VM07-210	2007	11.25	高崎市	メス	7150	62	1	2	1			タネ, ビニール, 果 実皮, 布, 手袋, 金属ファス ナーの元素, 新聞
VM07-211	2007	12.22	高崎市	オス	8000	59					サワガニ	